

2010年5月24日

関係各位

NPO 法人 米ニケーションセンター



**「地域と患者を結ぶ食物アレルギー講演会」に**  
予想をはるかに越える130名の参加者！  
アレルギーへの理解を深めました。



## ○盛り沢山の講演会○

長岡造形大学円形講義室で、「地域と患者を結ぶ食物アレルギー講演と集い」を開催しました。

この講演会は、認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク、NPO法人米ニケーションセンター、わんぱくアトピッククラブ、(有)エコ・ライス新潟、長岡機能性食品創造研究会との共催で、新潟に食物アレルギーの理解の輪を広げることが目的です。

基調講演は、上越市ですこやかアレルギークリニックを開業している田中泰樹先生に食物アレルギーの基本について講演頂きました。

集いでは、様々な立場の方からの発表がありました。

新潟市教育委員会保険給食課の管理栄養士高山典子さんから新潟市の学校給食の食物アレルギーの対応について、具体的な給食メニューを含め発表して頂きました。

次にわんぱくアトピッククラブの代表の高野陽子さんから活動の紹介がありました。副代表の萩野三千代さんからは、新潟市内の保育園・学校の食物アレルギーの対応を調査した報告を発表して頂きました。



わんぱくアトピッククラブのメンバーの主治医の上原由美子先生からは、新潟市民病院での経口負荷試験についての説明がありました。

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークの栗木成治さんからは東海地域でのアレルギー食の自主備蓄、松坂市との災害支援協定、そして、アレルギー大学について説明がありました。

最後に、食品企業の取り組みとして、長岡機能性食品創造研究会の佐田直人さんから米醤油の開発についての報告と越後製菓(株)総合研究所小林篤さんからアレルギー対応小麦パンの開発について報告してもらいました。

この講演会を機会に、来年夏頃には「アレルギー大学新潟初級講座」を開学したいと考えております。皆様からのご理解とご支援で、新潟の地にアレルギー理解の輪を広めて行きたいと思いません。何卒、よろしくお願いいたします。



受付でアレルギー支援ネットワークがアレルギーの本を展示。災害時のアレルギー児を題材にした「ぼくしんぺい」などを手にとって読んでました。



田中先生の講演での質疑応答で会場から多くの質問がありました。事前に申込時の質問も多く、その一つ一つに丁寧に答えていただきました。



マスメディアからの取材もありました。テレビなどで報道されることで食物アレルギーの認知度が上がることを期待します。

## 第17回アレルギーの会全国交流会講演会

知って欲しい食物アレルギー 子供たちの明るい未来を願って

とき：11月14日(日)

ところ：新潟ユニゾンプラザ

内容：第一部「学校における食物アレルギー対応(仮題)」

講師：国立病院機構 相模原病院小児科医師 今井孝成 先生

第二部パネディスカッション「地方のアレルギー事情を考える(仮題)」

パネリスト：新潟市民病院小児科医師 上原由美子 先生 他

**告知**

【問合先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨナガユキ)】

〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-100

TEL 0258-66-0070 FAX 0258-66-0447

e-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)



HP <http://eco-rice.jp/> 幻の白藤 HP <http://www.rice-shirafuji.com>